



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月10日

上場会社名 モビルス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4370 URL http://mobilus.co.jp/  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石井 智宏  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 加藤 建嗣（TEL）03(6417)9523  
 半期報告書提出予定日 2026年4月10日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	1,008	—	53	—	△73	—	△83	—	△37	—
2025年8月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年8月期中間期 △83百万円（—%） 2025年8月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	△6.28	—
2025年8月期中間期	—	—

（注）2025年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年8月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

※EBITDA（営業利益＋ソフトウェア償却費＋減価償却費＋株式報酬費用）

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2026年8月期中間期	2,300	—	1,486	—	59.0
2025年8月期	2,229	—	1,452	—	61.6

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 1,357百万円 2025年8月期 1,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	2,298	23.9	△110	—	△120	—	△45	—	—	△7.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期中間期	6,096,274株	2025年8月期	6,096,274株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	40,896株	2025年8月期	59,766株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年8月期中間期	6,045,590株	2025年8月期中間期	5,901,636株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年8月期第2四半期(中間期)の個別業績(2025年9月1日~2026年2月28日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	1,006	18.2	141	52.5	15	12.0	7	△16.4	7	22.4
2025年8月期中間期	851	11.8	92	—	13	—	8	—	5	—

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年8月期中間期	1.20		1.19	
2025年8月期中間期	1.00		0.99	

※EBITDA(営業利益+ソフトウェア償却費+減価償却費+株式報酬費用)

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	2,221		1,418		63.8	
2025年8月期	2,156		1,388		64.4	

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 1,417百万円 2025年8月期 1,388百万円

2. 2026年8月期の個別業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,250	21.3	40	△65.0	30	△73.1	30	△71.7	5.07	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10

1. 経営成績等の概況

当社グループは、2025年3月28日付「合弁会社設立に関する合弁契約締結のお知らせ」において公表いたしましたとおり、2025年4月21日付にてvottia株式会社を設立いたしました。これに伴い、vottia株式会社を連結子会社とし、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同中間連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境などの改善により、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、米国の通商政策の動向や、物価上昇による消費者の節約志向の継続など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの経営環境としては、国内企業の人手不足感の高まりやコスト削減への圧力から、コンタクトセンターの効率化及び自動化へのニーズは引き続き高く、またChatGPTなどの生成AIの技術的進化に伴い今まで効率化が困難であった領域における自動化への期待が高まることに伴い、コールセンターへの投資マインドが一段と醸成されつつあります。

当中間連結会計期間の売上高については、当社グループの主要事業であるSaaSサービスは、代理店経由での取引が活性化しチャットソリューションの拡販が進捗したことで、前年同期比で増加となりました。2026年2月末時点で、当社グループのSaaSプロダクトの契約数は318件(前年同期比100.3%)と微増に留まりましたが、新規案件の大型化と既存顧客の追加購入(アップセル/クロスセル)により、契約当たりの平均単価は311千円(前年同期比37千円増)となり、SaaSサービスの売上高は前年同期比+16.4%の成長となりました。プロフェッショナルサービスは、有償カスタマーサクセス案件の獲得が進み、カスタマイズ案件ではオペレーター支援AI機能のMooA導入に伴う複数の開発案件が売上へ寄与しており、プロフェッショナルサービスの売上高は前年同期比+24.8%の成長となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,008百万円、営業損失は73百万円、経常損失は83百万円、親会社株主に帰属する中間純損失は37百万円となりました。

当社グループはSaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の売上高は、以下のとおりであります。なお、前期の参考情報としてモビルス社の個別財務情報を記載しています。

サービスの名称	第14期中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	第15期中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
	販売高(千円)	販売高(千円)
SaaSサービス	649,894	756,355
プロフェッショナルサービス	201,840	251,918
合計	851,735	1,008,273

また、当社グループが重視している経営指標の推移は、以下のとおりであります。

ARR(注1)の推移

	2025年8月期				2026年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
ARR(千円)	1,241,546	1,311,388	1,379,260	1,418,646	1,442,680	1,472,666
うち直販(千円)	617,497	632,296	682,563	687,477	686,584	709,809
うち代理店(千円)	365,876	413,156	401,466	451,715	477,549	481,506

うちOEM(千円)	258,171	265,935	295,230	279,454	278,545	281,350
-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(注1) ARR: Annual Recurring Revenueの略語であり、毎年経常的に得られる当社グループ製品の月額利用料と従量課金の合計額。

四半期末月のサブスクリプション売上高(毎月経常的に得られる当社グループ製品の月額利用料と従量課金の合計額)を12倍することにより算出。

サブスクリプション型のリカーリングレベニューに関わる契約数(注2)及び契約当たりの平均単価(注3)の推移

	2025年8月期				2026年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
契約数	312	317	316	322	316	318
契約当たり平均単価(千円)	263	275	286	295	307	311

(注2) OEMを除く。

(注3) 契約当たり平均単価:OEMを除く。四半期末月の月次サブスクリプション売上高を契約数で除することにより算出。

直近12ヵ月平均解約率(注4)の推移

	2025年8月期				2026年8月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
解約率(%)	1.06	0.83	0.72	0.63	0.70	0.68

(注4) 従量課金・OEMを除く。「当月の解約による減少したライセンス売上高÷前月末のライセンス売上高」の12ヵ月平均。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少105百万円、売掛金の減少18百万円があったことによるものであります。固定資産は997百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアの増加179百万円があったことによるものであります。

この結果、資産合計は2,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。

### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は725百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加344百万円、契約負債の減少83百万円があったことによるものであります。固定負債は87百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少212百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は813百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。

### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に非支配株主からの払込みにより95百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する中間純損失として37百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月10日に公表いたしました「2025年8月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、当該連結業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,039,144	933,327
売掛金	292,769	274,474
仕掛品	6,918	7,197
貯蔵品	89	87
その他	68,387	77,905
貸倒引当金	△2,843	—
流動資産合計	1,404,465	1,292,991
固定資産		
有形固定資産	62,299	106,513
無形固定資産	609,195	788,313
投資その他の資産	142,500	102,849
固定資産合計	813,996	997,676
繰延資産	10,731	9,562
資産合計	2,229,192	2,300,230

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,443	41,439
1年内返済予定の長期借入金	5,548	350,000
未払金	113,232	148,687
未払法人税等	22,050	10,356
契約負債	175,885	92,732
賞与引当金	55,584	64,318
その他	64,601	18,223
流動負債合計	476,346	725,756
固定負債		
長期借入金	300,000	87,500
固定負債合計	300,000	87,500
負債合計	776,346	813,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	449,152	449,152
資本剰余金	1,404,843	1,413,688
利益剰余金	△457,766	△495,758
自己株式	△23,137	△9,873
株主資本合計	1,373,093	1,357,209
新株予約権	185	429
非支配株主持分	79,568	129,335
純資産合計	1,452,846	1,486,974
負債純資産合計	2,229,192	2,300,230

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	1,008,273
売上原価	364,453
売上総利益	643,820
販売費及び一般管理費	717,212
営業損失(△)	△73,391
営業外収益	
受取利息	1,012
雑収入	0
営業外収益合計	1,012
営業外費用	
支払利息	2,805
譲渡制限付株式関連費用	4,180
本社移転費用	2,272
その他	1,483
営業外費用合計	10,741
経常損失(△)	△83,120
特別利益	
新株予約権戻入益	244
特別利益合計	244
特別損失	
固定資産除却損	263
特別損失合計	263
税金等調整前中間純損失(△)	△83,140
法人税、住民税及び事業税	85
法人税等合計	85
中間純損失(△)	△83,225
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△45,233
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△37,992

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純損失(△)	△83,225
中間包括利益	△83,225
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△37,992
非支配株主に係る中間包括利益	△45,233

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純損失(△)	△83,140
減価償却費及びその他の償却費	111,872
株式報酬費用	15,805
譲渡制限付株式関連費用	4,180
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,843
受取利息及び受取配当金	△1,012
支払利息	2,805
移転費用	2,272
新株予約権戻入益	△244
有形固定資産除却損	263
売上債権の増減額(△は増加)	18,294
棚卸資産の増減額(△は増加)	△276
仕入債務の増減額(△は減少)	1,995
未払金の増減額(△は減少)	32,076
契約負債の増減額(△は減少)	△83,153
未払消費税等の増減額(△は減少)	△39,610
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,733
その他	△13,048
小計	△25,030
移転費用の支払額	△2,272
利息及び配当金の受取額	1,012
利息の支払額	△2,805
法人税等の支払額	△8,382
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△37,478</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△54,246
無形固定資産の取得による支出	△280,051
敷金及び保証金の返還による収入	38,518
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△295,779</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△18,048
新株予約権の発行による収入	488
非支配株主からの払込みによる収入	95,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>227,440</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△105,817
現金及び現金同等物の期首残高	1,039,144
現金及び現金同等物の中間期末残高	933,327

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年10月10日開催の取締役会決議に基づき、2025年11月7日に譲渡制限付株式報酬として自己株式28,910株の処分を行いました。

また、2025年11月27日開催の取締役会決議に基づき、2025年12月19日に譲渡制限付株式報酬として自己株式14,750株の処分を行いました。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が1,413,688千円、自己株式が△9,873千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当社グループは、SaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。